

イラストですっきりナットク!!

姓氏研究家
森岡 浩 著

少し かしこくなれる

名字の話



錦織さんが一番多いのは島根県

笠倉出版社

第1章

地形由来

023	窪地	茨城県や栃木県に多いえぐれた低い土地……………	30
022	湿地	「浮気」さんは浮気者? 「富家」さんは大富豪? ……	29
021	樋・笕	川から水を引いた「樋」に由来する名字……………	28
020	林・森	なんだか似ている林さんと森さん……………	27
019	谷・洞	武士が身を隠しながら住んだ谷間……………	26
018	崎	スリル満点!? 山や谷など地形の先端に住んでいた人……………	25
017	島	海に囲まれた場所も陸上の盛り上がった土地も両方「島」……………	24
016	岡	塚よりもさらに大きく盛り上がった場所……………	23
015	羽生	埴輪づくりに用いられた粘土質の土地……………	22
014	辻	人の往来が盛んな場所に住んでいた人々……………	21
013	原	開墾を試みるも水田化できなかった広い土地……………	20
012	野	野を所有していたのは裕福な一族……………	19
011	井	垣間見える水汲み場コミュニティ……………	18
010	塚	古墳が多く存在する埼玉県に多い名字……………	17
009	畑・畠	「畑」名字でわかる武士の領地……………	16
008	平	平家由来だけではなく平地に住んだ平さんも……………	15
007	瀬・淵	山奥の豊かな水資源に囲まれていた人々……………	14
006	沢・滝	長野県に多い沢のつく名字……………	13
005	岸	長野県に多い山間地にある崖を指す名字……………	12
004	稲・米	日本の生活基盤を象徴する名字……………	11
003	田	地形由来で最多! そのわけは中世に行われた大々的な開墾……………	10
002	川	生活に欠かせない川の近くに住んだ人々……………	9
001	山	集落の最大の目印だった山は名字のキーワードに……………	8
	名字の成り立ち……………	6	

第3章 方位・方角 由来

045	本・元・根 「下」を縁起良く言い換えると本・元・根に	56
044	左・右 向きによって変わる左右はあまり使われなかった	54
043	巽・乾・艮 東西南北の中間を指す方角	53
042	内・外 目印となる地形や集落から見て内か外か	52
041	上・下・前・後 東西南北では表しきれなかった方角	51
040	東・西・南・北 本家からどの方角に分家したかで東西南北を名字に	50
コラム2 姓と名字の違い		

第2章 建造物 由来

039	瀬古 三重県の方言で「細い路地」を指す言葉	47
038	小路・条 平安時代の先祖の住所がわかる名字	46
037	垣 「垣内」は関東では「かきうち」、関西では「かいと」	45
036	橋 渡し船が主流だった時代、橋はレアな目印	44
035	屯倉 責任重大!? 稲を保管していた朝廷の倉庫	43
034	庄・荘 広大な莊園を所有していた公家や大寺社	42
033	神 神への供え物に関わった人々の名字	41
032	宮・鳥居 神社に関わっている職業や土地	40
031	寺 寺に関わる人々が名乗った名字	39
030	桑 養蚕、絹織りを商いしていた一族	38
029	松・杉・桜・栗・楮・椎 名字でわかる日本古来の樹木	37
028	堤 堤防の近くで暮らす肝のすわった人々	36
027	里・浦 対になる農村と漁村の位置関係	34
026	海老・蛸 エビ捕り漁師ではなく川の蛇行している部分のこと	33
025	空 空に届きそうな高所で暮らしていた人々	32
024	金 お金持ちだったのが由来? 実は鉄が採取される場所のこと	31
コラム1 名字と戸籍制度		

第5章

家系・地名由来

070	時国	平大納言時忠の流れを引く能登の名家	83
069	出・河内・丸	地域によって異なる新田の呼び名	82
068	増	「枳」や「升」を縁起の良い字に置き換えた	81
067	福・吉	子孫繁栄のためにつけられた縁起の良い名字	80
066	渡来人系	古代に中国や朝鮮半島から優れた技術を持ち込んだ人々	79
065	その他の地名	大字ほどの小さな地名がルーツに	78
064	長谷川	奈良県桜井市にある細長い谷がそのルーツ	77
063	佐々木	佐々木荘に住んだ宇多天皇の子孫の一族	76
062	千葉	「千葉」だけれど多くは東北地方に存在	75
061	三浦	ご先祖は相模国三浦郡を領した桓武平氏	74
060	渡辺	嵯峨天皇の子孫が名乗ったのがはじまり	73
059	高橋	奈良県の有力氏族で朝廷の食膳を司る一族	72
058	菅・菅野	菅原一族の略称からできた二つの名字	71
057	菅原	奈良市菅原町発祥で菅原道真を先祖に持つ	70
056	官職+藤原氏	地方に所領を持たない藤原姓の官僚	69
055	地名+藤原氏	地方に定住した藤原氏	68

第4章

職業由来

054	積・梵	仏教用語や経典に書かれる難解な言葉が名字に	66
053	服部	古代に衣服を作っていた役職の人々	65
052	村主	ご先祖は村を統括していた村長	64
051	屋	屋号を名字にした商家出身の人々	63
050	錦織	錦織さんが一番多いのは島根県	62
049	飼	鶏や狩猟用の犬を飼育する官職の人々	61
048	東海林	山形の「とうかいりん」さんと秋田の「しょうじ」さん	60
047	庄司	荘園を管理する役職にあった人	59
046	鈴木	和歌山県発祥の熊野信仰を広めていた家系	58

第7章

珍しい名字

第6章

生き物・色・
数字由来

091	090	089	088	087	086	085	084	083	082	081	080	079	078	077	076	075	074	073	072	071			
小鳥遊	勘解由小路	八月朔日	四月朔日	薬袋	剛力	古館	御手洗	二階堂	貫地谷	水ト	草薙	七五三	コラム4	数字	黒・白・赤・青	魚	牛・馬・熊・猪	主君から与えられた名字	小粥	昼間	門脇		
小鳥が遊べるのは天敵の鷹がいないから	ご先祖は勘解由小路に住んだ公家	旧暦八月一日に行なわれた豊作祈願	四月一日に着物から綿を抜く風習	武田信玄の薬袋を拾ったことがきっかけ	登山のときに重い荷物を運ぶ職業	武士の邸宅は小さな城のようなもの	参拝前に手を清める神聖な場所	鎌倉の永福寺にあったお堂に由来	一貫分の収穫があがる谷間に住んでいた	水を使って占いをしていた一族	兵士が弓で草をかき分けて進む様子から	平安時代のしめ縄の構造に由来	武士の名字	読みが独特でとんちの意味合いの多い名字	平安時代に色として認識されたのは四色	川が当時の主な漁場だったことがわかる	中世の人々にとって身近だった動物たち	領地や金銭の代わりに褒美として与えた	由来は家康にふるまった一杯の粥	徳川家康の川渡りを手助けした村民たち	平教盛のあだ名を名字にした家臣たち		
109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	97	96	94	93	92	91	90	88	87	86	85	84
コラム5	帰化した外国人の名字	わんぱく																					